

神石小版「学びの革新」アクション・プラン

神石小の児童は、

かしこい子・たくましい子・さわやかな子

＜社会の変化に対応して求められる資質・能力＞

- 問題に直面した時点で集められる情報や知識を入手し、自ら深く考えそれを統合して新しい考えを創り出す力
- アイデア・情報・知識の交換や共有、アイデアの深化や考えの再吟味のために他者と協働・協調できる力
- 協動的・想像的な問題解決のために、どのような分野においても学び続ける力が基礎となる

＜神石小学校の児童の課題＞

- ・身の回りの生活や事象から、児童自ら「調べてみたい」「やってみたい」という課題を設定する力
- ・見通しをもって、解決のための様々な方法を考え、粘り強く解決しようとする力
- ・友だちと意見を交流したりアドバイスをし合ったりしながら、互いに高めていこうとする力
- ・失敗や間違いをおそれず、自分に自信を持った行動や場に応じた行動をしようとする力

＜必要な資質・能力のキーワード＞

- ☆課題発見
- ☆課題解決
- ☆協働
- ☆自らへの自信

＜目指す主体的な学びの姿＞

- ☆自ら課題を設定することができる子ども
- ☆課題を解決するための情報や技術を得たり活用したりして、解決しようとする子ども
- ☆自ら学び、友だちと考えを共有しながら、共に深め高まり合おうとする子ども
- ☆自分や友だちの良さが言え、良いと思うことを進んで行おうとする子ども

＜学びの革新＞

全教職員で指導法の統一を図ると共に、各学年に応じた主体的な学びの姿をイメージした授業づくり

- ★課題づくり
 - ・教科横断的に単元を構成し、児童の実生活に活かせる課題や、児童が解決したいと思える課題を設定する。
 - ・「まとめ」からの逆思考の課題を設定する。(本時の「まとめ」が答えになる疑問文が学習課題)
 - ・前時の振り返りを、本時の課題設定に役立てる。
- ★課題解決
 - ・どのような知識・技能を使えば解決できるのか見通しをもたせるために、教えることは確実に指導する。
 - ・課題解決学習の流れを意識した板書計画、ノートづくりに取り組む。
 - ・1時間の流れを提示し、それをもとに学習リーダーを中心とした授業を行う。
- ★協働
 - ・友達の見聞の良さや、改善点など言い合い、共に高まっていく協働的な学びの場を設定する。
 - ・ライブ説明や巻き込み説明をしながら、全員が考えを共有し、深める授業を行う。
- ★自らへの自信
 - ・振り返りを児童に発表させたり教師が紹介したりして、価値付けたり評価したりする。